

市議会議員村上ひろしの NEW & GOODS

vol.
16



◀村上ひろし公式ホームページ

〒862-8601 熊本市中央区手取本町1-1

TEL (096) 328-2650 FAX (096) 324-7777

2025年7月発行

6月議会代表報告

6月10日～30日【会期21日間】

物価高騰対策支援に5億円余、PFAS(ピーファス)^{*}対策費に1億円

熊本市議会の第2定例会は、令和7年度の1年間の予算を3月議会で審議していたため、一般会計の補正額は8億8千万円余と小幅の補正でした。

特徴的だったのは、学校給食への物価高騰支援策として5億1220万円が補正されたことです。また、最近、特に全国的に関心が高まっている「PFAS」ですが、排出先とみられる産業廃棄物処分場からのPFASを含んだ排水の流出を抑えるための費用として1億円を助成することになりました。

また、埼玉県八潮市で起きた道路陥没事故を基に、老朽化した下水管を調査する費用として5840万円が計上され、賛成多数で可決されました。

※PFAS…有機フッ化化合物の総称で、残留性が強い有機汚染物質。水によく溶け、揮発しない性質が問題を深刻にしており、分解されずに残留し続ける点がやっかいです。「永遠の化学物質」とも呼ばれています。また、WHOの専門機関である「国際がん研究機関」が「発がん性がある」と断言しています。環境省は千度の高温に置けばほぼ完全に分解できるとし、一方より低温度で効率的にPFAS等を分解する研究も進められているようです。地下水は本市の貴重な財産です。今後の研究成果に注目し、期待しましょう。

部活動運営支援金を設置、二人の新任副市長が就任

条例では、学校部活動を運営するための支援金が設置されます。さらに、意見書では、義務教育費に関わる意見書や、内密出産の法制化へ向けた議論の促進を求める内容や、旧姓の通称使用の拡大を求める内容など6本の意見書が採択されました。

人事案件として、新たに田中俊実氏が副市長に就任すると同時に、内閣府参事官の岡田芳和氏を副市長に充てる人事に同意しました。

I 委員会報告

予算関係を除く各委員会の審議の概要は下記の通りです。これらの審議の中で特徴的だったのは、「厚生委員会」で議論された「老人憩いの家」の廃止に関してです。この廃止要望は、維持・運営する地元町内会からの要請です。人材の不足により、維持・運営が難しくなったから、という理由です。地域の活動拠点でもある「老人憩いの家」の廃止要望は、今後ますます進展する高齢社会が抱える課題を実感しました。

1 総務委員会

議第108号

「熊本市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について」

委員から「国の制度を踏まえながら熊本市独自の子育て支援制度の拡充を盛り込んだ改正であり、高く評価する。今後も制度整備にあたっては、子育て中の職員の現状を考慮し、積極的な取り組みを求めたい」との要望が述べられ、採決の結果、付託を受けた4件はいずれも全員異議なく「可決すべき」と決定しました。

2 教育市民委員会

付託を受けた2件は、教育委員会の説明を聴き、内容の確認を行い、採決の結果、2件とも異議なく「可決すべき」と決定しました。

3 厚生委員会

議第118号

「熊本市民生委員定数条例の一部改正について」

委員から、「民生委員のなり手不足解消に向けた取組を進めてもらいたい」旨の意見要望が述べられました。

議第119号

「熊本市老人憩いの家条例の一部改正について」

地元町内会から廃止の申し出があり、種々議論があり、1つ「老人憩いの家は、高齢者の社会参加の機会を得る活動拠点として、重要な役割を担っており、施設の老朽化を理由に、安易に廃止しないよう、計画性をもって維持管理に努めてもらいたい」、1つ「将来的には、地域住民が多目的に利用できるよう、名称の変更を含め、高齢者施設の在り方について、地域との対話を重ねながら、市としての方針を検討してもらいたい」という旨の意見要望が述べられました。



議第120号

「熊本市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について」

委員より、地域型保育事業は、市民の保育ニーズに対応する重要な施策であるため、今後も丁寧かつ着実に事業の推進に取り組んでももらいたい旨の意見要望が述べられ、採決の結果、3件についてはいずれも全員異議なく「可決」されました。その他の2件はいずれも賛成多数で「可決すべき」と決定されました。

4 環境水道委員会

議第122号

「熊本市上下水道事業企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について」

執行部の説明を聴取し、内容の確認を行い、採決の結果、全員異議なく「可決すべき」と決定されました。

5 都市整備委員会

議第124号

「熊本市交通事業企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について」

委員より「制度の周知を図るとともに、職員の意見を聞きながら、働きやすい職場環境の整備に努めてもらいたい」旨の意見要望が述べられ、採決の結果、議第123号ないし議第146号、以上25件は、いずれも全員異議なく「可決すべき」と決定されました。

II 分科会報告

今議会に提案された補正予算についての各、6分科会の各審査状況は以下の通りです。

1 総務分科会

議第113号

「熊本市消防団員の退職報奨金に関する条例の一部改正について」

退職報奨金の額について政令の趣旨を踏まえた熊本市独自の検討に加え、消防団員のなり手不足や団員数の地域格差を踏まえ、消防団の在り方についての抜本的な議論も必要と考える、旨の意見要望が述べられました。

2 教育市民分科会

分担した議案の審査については、下記の通り意見並びに要望がなされました。

「令和七年度熊本市一般会計補正予算」中、 「教育市民分科会」関係分

種々議論があり、「1つ、学校給食に使用する米について、地産地消推進の観点から、今後も県産米を継続的に使用するように努めてもらいたい。1つ、主食である米の価格安定化や食材選定基準の明確化を図ることで、熊本市の学校給食の質を維持する取り組みを推進して欲しい」旨の意見要望が述べられました。

議第109号

「熊本市附属機関設置条例の一部改正について」

人権尊重に係る条例策定にあたり、世界人権宣言に規定されている権利や義務などの人権に対する考え方等について、検討委員会と共有し、熊本市まちづくりの根幹を成す条例となるよう取り組んでももらいたい、旨の意見要望が述べられました。

議第115号

「熊本市立学校部活動支援基金条例の制定について」

現在想定している企業からの協賛金が得られない場合も想定されることから、熊本市の負担額を増額するなど対応策をあらかじめ検討しておくとともに、企業との連携を密にした持続可能な基金の創設に取り組んでももらいたい旨の意見要望が述べられました。

3 厚生分科会

厚生分科会で分担した議第101号のうち、厚生分科会関係分の3件は、執行部の説明を聴取した後、内容を確認し、審査を終了しました。

4 環境水道分科会

議第101号

「令和七年度熊本市一般会計補正予算」のうち、環境水道分科会関係分

種々論議があり、埋め立て処分場PFAS対策事業に関しての意見要望が以下の通り述べられました。

- ・情報公開が遅れることで、周辺住民の不安が増大することが懸念されるため、県や近隣市町村と連携し、早急な情報提供に取り組んでもらいたい
- ・今回の対策事業については、PFAS濃度の低減効果が明確になるよう、継続した効果検証を行ってもらいたい
- ・側溝の整備については、処分場によって地形等の状況が異なるため、それぞれの処分場に合った適切な対策を講じてもらいたい
- ・今回の対策後に、その効果検証の結果について、市民に分かりやすい情報公開に努めてもらいたい。また、事業者の公表によって風評被害が懸念されるため、十分に配慮しながら取り組んでもらいたい
- ・今回の事業については、既に排水設備を有している事業者と、そうでない事業者との間に不公平感が生じないよう配慮しつつ、解決へ向け丁寧に進めてもらいたい

議第104号

「令和七年度熊本市下水道事業会計補正予算について」

下水道管路の全国特別重点的調査経費について議論があり、「調査の結果、異常箇所が判明した場合、速やかに修繕等を実施し、市民の不安解消に努めてもらいたい」旨の意見要望が述べられました。

5 経済分科会

議第101号

「令和七年度熊本市一般会計補正予算」中、経済分科会関係分

食品工業団地活性化支援経費について論議があり、「分譲用地の買戻しに至った経緯として、コロナ過や資材高騰の影響など、やむを得ない事情があったことは理解するが、再分譲に当たっては、同様の事態に陥らないよう改善策を講じ、入居を希望する企業等と十分に協議しながら進めてもらいたい」旨の意見要望が述べられました。

6 都市整備分科会

以下の意見要望が述べられました。

「路面電車の安全の再構築等の検討経費」

- ・乗務員等の身分の安定化については、早急に検討を進め、速やかに対策を講じることで、安全で安心な熊本市電を取り戻してもらいたい
- ・交通局経営計画の中間見直しにあたっては、外部委託の成果物をそのまま反映させるのではなく、専門的知見も活用しつつ、改革を実行する交通局が主体となって、根本的な問題解決に向け、検討を深めてもらいたい
- ・熊本市電再生プロジェクトの推進にあたっては、現場、市電再生タスク・フォース、専門の委託業者の三者が、適時情報共有や、緊密なコミュニケーションを図りながら、効果的に対策の検討を進めていくよう求めたい

「車両速度計設置経費について」

- ・速度計は安全運行に関わるため、可能な限り速やかに設置してもらいたい
- ・速度の計測機能に加えて、市電の運行状況の記録が可能な機器を導入し、データ分析ができるよう検討してもらいたい

議第105号

「令和七年度熊本市交通事業会計補正予算」

委員の意見要望は以下の通りです。

- ・市電の安全運行にかかる経費については、交通事業会計だけでまかなうことなく、一般会計からの繰り出しも選択肢として、財政当局とも十分に協議してもらいたい
- ・軌条の老朽化は、深刻な課題であるため、一般会計からの財政支援も視野に入れた抜本的かつ具体的な対応策を打ち出してもらいたい
- ・安全対策を抜本的に進めるに当たっては、マンパワー不足も懸念されるため、総務局とも協議しながら人員体制を強化してもらいたい



トピックス



来春、中学に入学予定の保護者から相談が寄せられました。

車いすの息子が友だちと同じ学校へ行きたい。だけど、校区の中学校にはEV(エレベーター)がないから、友だちと別々になるのは悲しいけど、EVがある別の中学校に行くと言っています。

さっそく、教育委員会の施設課の担当者に会い、状況を探ねたところ、「予算は確保しているが全国的にEVが品薄状態にあり、設置を確約できない」との答えでした。そこで、「友だちと別々になるのは悲しいけど、EVがある中学校に行く」と話している児童の言葉を紹介し、「子どもに『悲しいけど別の中学校に行く』と言わせて良いのですか?」と投げかけると、担当者は心が動いたのか「もう一度メーカーと掛け合い、確保できる様に頑張りたい」と意気込みを話してくれました。

担当者とのやり取りを保護者に伝え、後日、「子どもはとても喜んでいます」と連絡が入りました。私はEVが確保でき、児童の笑顔が見られる様に、教育委員会と連絡を取り合っています。

バス停のバリアフリー化の推進

熊本市では、令和5年度にバリアフリースタープランを策定したことを契機に、公共交通の待合環境の改善に取り組んでいます。その一環として、安心して暮らせるまちづくりのため、バス停へのベンチ設置を推進しています。当初は6か年で600停留所への設置を目標としていましたが、令和7年度現在の設置数は82停留所にとどまっています。

ベンチを民有地に設置する際には、土地所有者との調整が必要となるなどの課題がありますが、高齢者などの地域の声を丁寧に拾い上げながら、今後も積極的にベンチの設置を推進してまいります。

ベンチ設置済のバス停留所



第一高校東門



田崎市場前

ベンチ未設置のバス停留所



開新高校前



SPOT NEWS

私は4月より、「教育市民委員会・分科会」から「厚生常任委員会・分科会」に変わりました。福祉関係、子ども支援関係の委員会であり、私にとっては関係深い分野を審議する「常任委員会・分科会」です。

これまで以上に小さな声に耳を傾け、審議に反映させる決意です。「厚生」分野以外のことも市政に関する様々な要望や意見をお寄せください。

Message

地球の温暖化による夏の暑さは、地球上の生態系を一変させてしまうほどの恐怖を感じます。昨年の猛暑を経験したことで、「暑熱順化」がTVやマスコミなどで多く呼びかけられる昨今です。熊本県では6月中旬にすでに梅雨明けが宣言された異常(!?)な気候ですが、元気でこの夏を乗り切りましょう。皆様のご健勝を心からご祈念いたします。